

◎「教育委員会所管」

問 学校備品購入の方針は。

(藤岡議員)

答 各校から必要な備品を申請してもらい、調整の上、予算を配分している。

問 委託料不用額の原因は。

(影岡議員)

答 平成28年度の実績を踏まえて当初予算を計上するため、入札減少金により差が生じている。

問 学校生活支援員の減額は。

(岡井議員)

答 各学校の先生や小児科医等で構成される町教育支援委員会で、配慮が必要と判断された園児・児童・生徒に対して配置している。

保護者からの配置希望は年々増加しており、平成29年度は23人の支援員を配置した。年度途中で転出した対象者がいたため、支援員賃金を減額した。

問 学校の光熱費は。

(稲田議員)

答 太陽光発電施設の有無によって差がある。

北伊予中学校、松前中学校、岡田小学校の3校に設備があり、太陽光発電により、3校合わせて約226万円の収入を得た。



北伊予中学校の太陽光パネル

◎福祉部所管

問 愛顔の子育て応援事業の執行率が低い。

(田中議員)

答 第2子が生まれた家庭に対し、5万円分の紙おむつチケットを交付する。当初は使用率を70%と見込んでいたが、実際の使用率が半分以上であったため、使用状況を調査し、来年度予算の参考にした。

問 職員の超過勤務は。

(城村議員)

答 平成29年度から保育幼稚園係が新設され、1人当たりの超過勤務はやや減少している。しかし、もともとの事務量自体が多く、新たに発生した事務もあるため、依然、超過勤務は多い。交代しながら休みを取るよう、指導している。

問 旧宗意原保育所解体におけるアスベスト含有調査の時期は妥当か。

(田中議員)

答 解体費用設計後、改めて行った。今後、同様の設計を行う場合は、設計にアスベスト含有調査を含めるようにする。

意見 効率よく事務を進めるよう工夫してほしい。

問 交通指導員の構成は。

(藤岡議員)

答 交通指導員は、町内3校区で26人おり、1校区当たり10人前後で指導をお願いしている。指導員には非常勤職員として報酬を支払っている。また、交通安全協会に所属する指導員3人の人件費を、松前町と伊予市で負担している。負担割合は免許取得人口や学校数などで按分し、松前町が39・9%、伊予市が60・1%である。

問 低所得者への負担軽減補助は。

(藤岡議員)

答 国費で、介護保険料を軽減する「低所得者保険料軽減」、県費で、介護サービス利用者負担分を軽減する「低所得者対策」という補助がある。

問 介護保険料の滞納対策は。

(藤岡議員)

答 滞納者の財産調査を行った上で、不納欠損等の滞納整理を進めている。納入の必要性を十分説明し、理解を得ながら徴収に取り組む。

問 保険給付費の不用額は。

(影岡議員)

答 一人当たりの給付額が見込みより減少したことが主な理由である。

問 老人ホーム入所措置費の不用額は。

(岡井議員)

答 年度内で入所者の移動があり、予算計上時の人数と差が生じたためである。

各課への意見・要望

- ① 事業毎に執行率と不用額を明示し反省点を説明すべき。来年度予算に反省点をどう反映するのか新年度予算説明時に報告を望む。
- ② 細節(使用用途の詳細)を表示して説明してほしい。
- ③ 個人情報取り扱いについて慎重に文書管理を行っていたいただきたい。

(全員一致で認定)

事業会計

議案第54号 松前町水道事業会計決算認定

問 水道の有収率は。

(藤岡議員)

答 水道管の漏水対策を実施してきたことで少しずつ改善していたが、平成29年度は複数箇所で漏水があったと思われるため前年度を下回ったと考えられる。今後、有収率が90%を切ることがあれば、漏水調査を実施し、計画的な修理を行う。

(全員一致で認定)